

審査員講評



梅原 幸雄



田島 健次



❖ 梅原幸雄(東京芸術大学教授、日本美術院評議員)

みえ熊野の情景スケッチコンテストの審査をしました。今年で7回目になりますが、大きさも8~10号程度に決めたことにより、力が入った作品が多くありました。

常連の方も多くなり、定着してきたように思います。景色の美しさ、すばらしさを考えても、広く多くの人に知ってもらふころみが必要なのを感じます。最優秀賞の「尾鷲港の船留」(武藤誠)の力作、優秀賞の「路」(須賀利)、「阪範子」の色彩の美しさ。同じく優秀賞の「普濟寺」(稲垣敏子)は、現地で作者の感動が伝わる作品。審査員特別賞の二人は賞に値する良い作品でした。

入選作の中で心に残った作品に「紀伊長島港」(豊田陽男)が挙げられます。確かな素描力と動くものへの適確な位置の選定に感心しました。「海鳥の舞う港」(中村清)の海鳥の描き方に、現地に生活する実感が表現されており、すばらしいと思いました。

❖ 田島健次(三重県洋画協会・会長、一水会常任委員)

第7回目を迎えた今回の応募点数はやや少な目ながら力作ぞろいの感じがしました。最優秀賞の「尾鷲漁港の船留」(武藤誠)は、いわゆる達者で上手い絵ではないが水彩とパステルを使って漁港の喧騒を醸し出しています。優秀賞の「路」(須賀利)、「阪範子」は軽い線描タッチを効かせて集落の生活感を出し、同賞の「普濟寺」(稲垣敏子)は古刹の重厚さを表現。審査員特別賞の「遊木漁港の朝」(真鍋和正)は港の景観を伝える構成力、同賞の「ピチピチさんまの水揚げだ!」(杉野三枝)は着目の独自性と描写力を買いました。その他、確かなデッサン力をもって印象に残ったのは、判治隆・鎌田優・渡部明美・今地揚子・石川勉さんらの作品でした。選者側として惹かれるワンポイントは、やはり現場に立って肌で感じた印象を情熱的にとらえて描いた作品でしょう。ヘタでも現地の魅力を引き出して力強く構成することです。熊野地方はアーティストにとっては大変魅力的なスケッチポイントの宝庫と思います。

事務局から

今回で第7回目を迎えた「みえ熊野の情景スケッチコンテスト」。
応募総数59点と、多数の応募をいただき、誠にありがとうございました。
今回の審査は1月15日(水)に名古屋市内の会場をお借りし、審査員の梅原先生、田島先生にお越しいただき、審査をしていただきました。

力作が多くあり、時間をかけて審査を行っていただきました。惜しくも選にもれましたが、先生方から励ましの言葉をいただいた作品もいくつかあります。この素晴らしい企画を更に広げていくべきとの話もいただきました。今回はサイズを拡大して募集したこともあってか、レベルが高く、迫力のある作品が増えたと感じております。今後とも、尾鷲市須賀利町や熊野市遊木町など、この素晴らしい東紀州のロケーションを多くの方に知っていただけるように、広くPRを行うべく、より効果的な企画造成を検討していきます。

末筆ながら、出展者の皆様、審査員の先生方には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。



「みえ熊野の情景スケッチコンテスト」事務局

東紀州地域振興公社 (ホームページ: <http://higashikishu.org/>)

■紀北事務所

三重県尾鷲市坂場西町1-1(三重県尾鷲庁舎内)
TEL. 0597-23-3784 FAX. 0597-23-3785

■紀南事務所

三重県熊野市井戸町371(三重県熊野庁舎内)
TEL. 0597-89-6172 FAX. 0597-89-6184

みえ熊野の情景 スケッチコンテスト 第7回入賞/入選作品集

最優秀賞



『尾鷲漁港の船留』 尾鷲市

名張市 武藤 誠

優秀賞

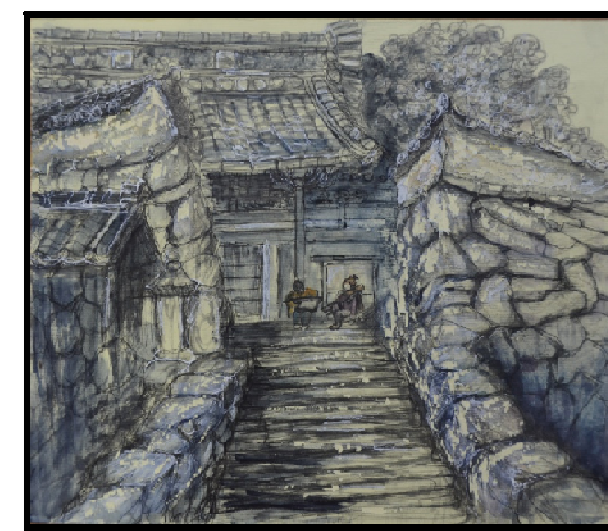


『路(須賀利)』 尾鷲市

津市 阪 範子

人の生活感を出す事ができれば...と思って描きました。

優秀賞

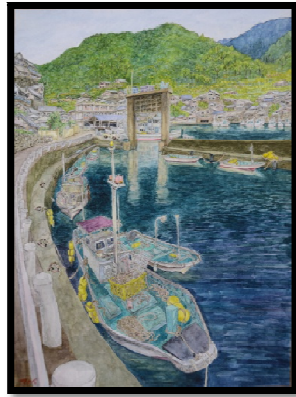


『普濟寺』 尾鷲市

鈴鹿市 稲垣敏子

テレビで須賀利の様子をみて、ぜひ普濟寺のまぐろの供養碑や一枚板の彫刻の扉が行って見たくなりました。やっと11月28日に何うことができました。

審査員特別賞



大阪府枚方市 真鍋和正
『遊木漁港の朝』 熊野市

漁港を訪れた時、バイクが転倒して(750ccバイク)、重くておこせず。バイクを起こすのに、港を散歩していた、年配の女性に助けもらった、思い出の場所です。

審査員特別賞



鈴鹿市 杉野三枝
『ピチピチさんまの水揚げだ!』 熊野市

獲れたての活き活きさんまが漁船のタモ網から躍り出ているようでした。

入選



『魚まちの風景(紀伊長島)』 紀北町
伊勢市 松葉良敏

11月7日にサークル員11名で紀伊長島へスケッチに。散策すると目に留まったのがこの景色でした。

入選



『尾鷲港』 尾鷲市
尾鷲市 倉本洋一

港に、多くの小型漁船が向きを揃えて停泊していました。大漁祈願の赤い旗が船に彩りを添えていました。

入選



『午後の一仕事』 尾鷲市
鈴鹿市 渡部明美

午後の陽ざしの中、楽しそうに語り合いながら魚網を繕ってみえる姿に心打られました。

入選



『須賀利漁港』 尾鷲市
津市 山村豊郎

以前から楽しみにしていた須賀利に来て充分楽しみなが描きました。お寺の和尚さんも大変親切で、ありがとうございました。

入選



『須賀利にて』 尾鷲市
愛知県西尾市 判治 隆

須賀利は5年ぶり2回目。きらめく海と緑、静かな漁港の情景を描いてみました。

入選



『紀伊長島港』 紀北町
津市 豊田陽男

入江の僅かな平地に肩を寄せ合っている屋根の景色に出会うと何故か無性に絵心に刺激を受けるのはなぜだろう。

入選



鈴鹿市 藤見登美子
『漁師現役』 尾鷲市

須賀利の浜辺で網をつくろう漁師にお話を伺いながら、スケッチさせていただきました。

入選



鈴鹿市 橋本美幸
尾鷲市
『お魚たくさんとれたら良いな』

漁師のおじさんが網の手入れをしていたけれど、きっと頭の中はたくさん、お魚がとれたら良いなあ~と思っているだろうと思って楽しい絵を描きました。

入選



『大漁旗』 紀北町
津市 高山多美子

長島港周辺で風になびく大漁旗が目にとまり描きました。

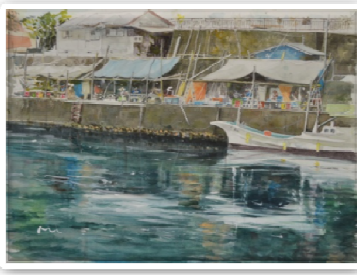
入選



『夏、須賀利漁港』 尾鷲市
津市 鹿間 剛

真青に輝く海。太陽の照り返しで白く光る堤防。その光を遮ったテントの中、もくもくと仕事をする漁師の妻たち。須賀利漁港の日常を切り取った作品です。

入選



『熊野・遊木漁港』 熊野市
名張市 稲森三明

遊木といえばサンマの基地港だそうです。当地の名産はさんまの丸干し・姿寿司。遊木漁港の生活感あふれる情景を描いてみました。

入選



『尾鷲市・須賀利漁港』 尾鷲市
鈴鹿市 小林敏子

イカダの様に浮いている所を描いてみたかった。

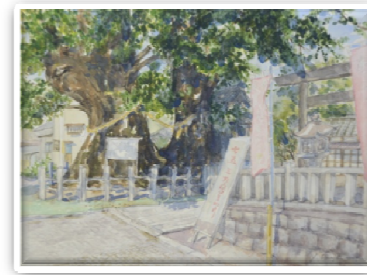
入選



『海鳥の舞う港』 熊野市
尾鷲市 中村 清

たくさん海鳥が小さな港に羽を休ませていました。ときどき羽音をひびかせて空を舞う海鳥。そんな港風景をしばしながめていました。

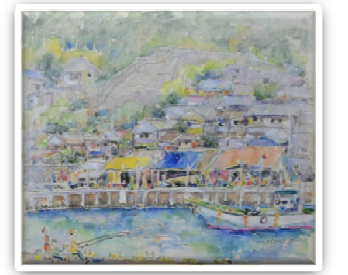
入選



『尾鷲神社の大楠』 尾鷲市
津市 今地揚子

荒々しい尾鷲湾を見おろす様に枝葉を重ね合わせた2本の巨木。樹齢1200年と称されている尾鷲神社の大楠。歴史的な天変地異を経験した大楠は今なお力を受けるかの様にすごい生命力に感動!!

入選



『熊野市遊木漁港』 熊野市
伊賀市 岡島原子

入選



鈴鹿市 鎌田 優
尾鷲市
『三木浦の集落』

隠れた漁村の風景に感動しました！特に高い階段をモチーフに描きました。集落の皆様毎日御苦労様です。又来たいと思います。

入選



『家路』 尾鷲市
鈴鹿市 杉浦美貴子

登り道は大変ですが植野家からの眺めは最高でした。

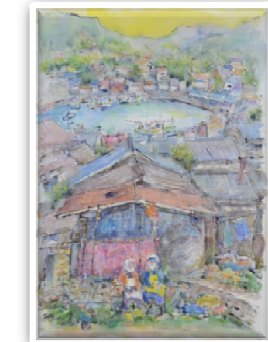
入選



『漁港の鮮魚店』 紀北町
津市 生川朋義

紀伊長島港にある鮮魚店のカラフルな庇テントに興味を引かれ描いてみました。

入選



名張市 石川 勉
『漁を終えて』 熊野市

高台より漁港を眺る、夫婦の楽しい会話に筆も進んだ。

入選



名張市 小林芳郎
熊野市
『熊野漁場 二人の絆』

夫婦で働く漁師。無言のひとつととと漁船の動き。

